

ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団 (米国)

2006年の助成額：9億800万ドル (約1100億円)

米国最大の慈善財団で、マイクロソフト社の収益と Warren Buffett 氏の投資資産の一部をもとにしている。上の数字は同財団の「世界健康プログラム」における研究活動への助成額と研究以外の活動への助成額を合わせたものである。

ハワード・ヒューズ医学研究所 (米国)

2006年の助成額：6億9400万ドル (約860億円)

才能ある若者に惜しみなく奨学金を出すことで有名で、生物医学系慈善団体としては世界で2番目に多い資金をもつ。この研究所が設立したジャネリアファームキャンパスは、神経科学の研究室群に混じって遊技卓や運動器具やバブを備えていることを自慢としている。

ハイ・キューおよびCHDI (米国)

2006年の助成額：5000万ドル (約62億円)

この2財団は姉妹関係にあり、ハンチントン舞蹈病という命にかかわる遺伝性脳疾患の治療薬の開発を促すために、バイオテクノロジー企業の手法を借りて運営されている。

アレン脳科学研究所 (米国)

2006年の助成額：1300万ドル (約16億円)

マイクロソフト社の共同設立者である Paul Allen は脳の神経回路に興味をもっている。彼が設立したこの研究所は、昨年、マウスの脳における遺伝子発現のオンライン地図である「アレン脳地図」を発表した。

クライブ・アンド・ベラ・ラマシオッティ財団 (オーストラリア)

2006年の助成額：1300万オーストラリアドル (約14億円)

Vera Ramaciotti は1970年に、自分と兄弟の Clive が相続した劇場を売却して得た6700万オーストラリアドル (約72億円) を投じて、オーストラリア最大の生物医学専門慈善財団となる組織を設立した。

The money tree

世界の主な慈善財団

Nature Vol.447 (251) / 17 May 2007

慈善家や民間財団が生物医学研究に提供する資金はますます増えている。資金力と影響力が大きい財団の一部を Lucy Odling-Smee 記者が紹介する。

ウエルカムトラスト (英国)

2006年の助成額：4億8400万ポンド (約1200億円)

世界最大の生物医学系慈善団体。長年にわたって英国科学の救済者と見なされているが、アフリカや東南アジアなどの研究基盤の整備にも力を注いでいる。

フランス筋ジストロフィー協会 (AFM) (フランス)

2006年の助成額：6100万ユーロ (約100億円)

AMFは、フランスの遺伝病研究における主たる民間資金援助団体である。ヒトゲノム上に散在するマーカーの最初の地図を作成するための研究に資金を提供した。

ストワーズ医学研究所 (米国)

2006年の助成額：7300万ドル (約91億円)

がんを克服したJames StowersとVirginia Stowersは、投資信託会社により築いた資産を生物医学研究に投じた。20億ドル (約2500億円) でストワーズ研究所を設立したことに加え、昨年はミズーリ州での幹細胞研究を推進するための政治キャンペーンに1500万ドル (約19億円) 以上を提供した。

エリソン医学財団 (米国)

2006年の助成額：3600万ドル (約45億円)

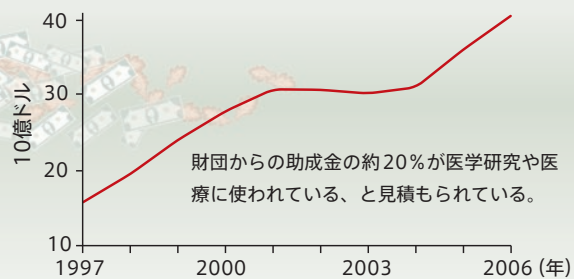
巨大ソフトウェア企業のオラクル社の最高経営責任者 (CEO) であるLarry Ellisonは、1994年にノーベル賞科学者Joshua Lederbergの研究室で2週間を過ごした。彼の資産の一部は今、老化研究者への資金援助に提供されている。

フォルクスワーゲン財団 (ドイツ)

2006年の助成額：560万ユーロ (約9億3000万円)

フォルクスワーゲン工場の売上金で設立され、その資金力は欧州連合 (EU) でトップ10に入る。ここにあげた数字は生物医学研究に支出されている額である。ほかの財団が支援の対象としていない学際的研究も支援している。

米国の慈善財団からの助成総額の推移



財団からの助成金の約20%が医学研究や医療に使われている、と見積もられている。

出典：財団センター